

東海第二発電所の火災区域特性表の例

平成 29 年 9 月

日本原子力発電株式会社

本資料のうち、 は商業機密又は核物質防護上の観点から公開できません。

東海第二発電所の火災区域特性表の例

東海第二発電所の火災区域特性表の内部火災影響評価では、設定した火災区域の情報（部屋番号、床面積、等価時間、隣接火災区域等）を火災区域特性表に記載し、整理する。

火災区域特性表においては、当該火災区域に設置される原子炉の安全停止に係る機器等（ケーブル含む）を明確にする。その上で、当該火災区域にて最も厳しい単一の火災を想定し、火災区域内の安全停止に係る機器全てを機能喪失したと仮定した場合に火災の影響を受ける緩和系を明確にし、残る緩和系において安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かについて評価を行い、その結果について火災区域特性表として整理する。

なお、原子炉の高温停止に必要な次の安全機能については、火災防護に関する審査指針に基づき、単一故障を想定しても安全停止パスが少なくとも一つ確保されることを確認する。

- 1) 原子炉未臨界
- 2) 原子炉過圧防止
- 3) 炉心冷却
- 4) 非常用所内電源系
- 5) 補機冷却系，補助設備

東海第二発電所における火災区域の代表例として、「R-6（ケーブル処理室）」の火災区域特性表を以下のとおり示す。

火災区域特性表 I

火災区域特性表のまとめ					1/1
プラント	NT-2	建屋	原子炉建屋	火災区域番号	R-6

--	--	--	--	--	--

火災区域特性表Ⅱ

火災区域内の火災源及び防火設備			1/1
プラント	NT-2	火災区域番号	R-6

火災区域特性表Ⅲ

火災区域に隣接する火災区域(部屋)と伝播経路			1/1
プラント	NT-2	火災区域番号	R-6

火災区域特性表Ⅳ

火災により影響を受ける設備			1/1
プラント	NT-2	火災区域番号	R-6

火災区域特性表 V

火災により影響を受けるケーブル			1/1
プラント	NT-2	火災区域番号	R-6

添付資料-1

火災影響評価のデータシート 目次			1/1
プラント	NT-2	火災区域番号	R-6







